

一般質問

「市政ここが聞きたい」

12月5日(木)

市長の政治理念・政策方針を問う!



中本 正一

①特例市移行を契機に積極的にシティセールスを推進すべきでは②新工業団地の整備に向けた打開策は③コンベンション施策の具体的な内容と時期をどう考えるか④支所のあり方について議論の進め方は。行革的な視点から議論も必要では。

答弁 ①特例市移行に伴いメディアに取り上げられる回数もふえると思われるので、その機会を十分に捉えて進めていきたい②知事にも相談し、県と協力し合って取り組んでいく③駅周辺に複合的なコンベンション機能を持つビルができるようコーディネートしていきたい。任期中に大まかな構想を作り上げたい。④市民にも議論に入ってもらい、意見を聞きながら進



まなざし運動に積極的に取り組め!



川原田裕明

子どもへのまなざし条例を制定して5年半が経過したが、当初に比べ、最近は運動の勢いを感じなくなつた。地域や企業に取り組みを呼び掛けている一方、市役所自体がもっと積極的に取り組んでいく必要があると考えるが。

答弁 市全体でこの運動を推進するために立ち上げた市民総参加子ども育成運動推進委員会に庁内関係課職員が出席しているほか、今年度からは教育委員も委員として参加している。また、教育委員会全課にまなざし運動兼務職員を配置し、担当者会議を開催して運動の主体となつて活動する体制づくりを行っている。さらに、市役所職員にはまなざし運動にかかわる体験談



などの活動を紹介するメール配信を行い、啓発に努めている。今後も市役所全体で運動を推進していきたい。
◆その他◆学力向上の課題について／公民館運営について

神野公園の現状と今後について問う



永瀨 史孝

めていきたい。財政面も考慮し、スクラップ・アンド・ビルドといった行財政改革の視点のもとで取り組んでいく。
◆その他◆後退道路用地(セツトバック部分)の整備について／国道263号旧道の交通安全対策について

①平成24年6月定例会において、神野公園に関する建設部長答弁にあつた「有識者の意見聴取」「利用者へのアンケート調査」「緑に関する市民意識調査」を実施したのか。また、「神野公園の今後のあり方に関する検討会」を立ち上げたのか②神野公園小動物園の

今後のあり方をどう考えているのか。

答弁 ①神野公園利用者へのアンケート調査を平成24年10月、緑に関する市民意識調査を平成25年8月に実施。有識者の意見聴取及び検討会の設置については、公園施設長寿命化計画の策定委員会を12月9日、神野公園のあり方検討会を12月20日に立ち上げる予定。市民ニーズや公園の歴史

的価値を踏まえ、神野公園のあり方について十分意

見を聞いていきたい②現時点で明確なビジョンは示せないが、市民意見等も参考に、市民に喜ばれる施設となるよう検討したい。
◆その他◆教育現場におけるICT活用について



小・中学校へのエアコンの設置を！



千綿 正明

今年、佐賀県は最高気温を更新した。小・中学校の校舎は鉄筋コンクリートで熱伝導が高く夏場は勉強できる環境ではない。PFI等でのエアコンの設置を考

る教育環境整備として、学校施設の耐震化や老朽化対策を最優先とし、学校給食施設の改修、ICT教育の環境整備を進めており、学校教室へのエアコン設置は他事業との優先順位を考慮しながら検討している。また、義務教育における教育環境の整備は基本的に市が行うべきであり、保護者の負担によるエアコン設置はなしまないと考えている。

なお、PFI方式での整備については財政的な負担がかなり軽くなる可能性があり、検討の一つとしたい。
◆その他◆ホームページの改修のポイントは、地域ポータルとの連携を／空き家条
例適用時の固定資産税の減免を



今後の農業政策を問う



川副龍之介

①転作や産地資金の交付金の動向②今回の交付金での認定農家・集落営農の面積要件③水田再編協議会の統一化④生産調整廃止後の取組⑤飼料用米への対応⑥企業参入の考え方⑦新たな水田農業政策を踏まえた特色ある佐賀市農業基本計画

答弁 ①米粉用米・飼料用米、産地資金が拡充②面積要件はない③旧市町毎に8つあり、現段階では継続④大豆、飼料用米の拡大を推進⑤多収穫用米の種もみ確保、生産コストの削減、主食用米との圃場分離が必要⑥農業委員会と連携し慎重に検討⑦佐賀市農業振興計画では、地産地消の取組強化と地場農産物の市場確保、女性や高齢者の活躍の場の確保、独自の認証制度



創設、農産物のブランド化と販路開拓、農村の地域コミュニティの維持・発展に主に取り組む。
◆その他◆中心市街地活性化について

12月6日(金)

利便性と効率性の高い交通政策を！



白倉 和子

高齢化が進む中、日常の移動手段確保は重要課題だが①地域巡回型コミュニティバスを含む公共交通政策は②コミュニティバス未実施地域での早急な実施の検討を③現在75歳以上が対象のワンコイン・シルバーパス助成の年齢引き下げを。

答弁 ①佐賀駅バスセンターを中心に放射線状に延びるバス路線を維持しながら、コミュニティバスなど地域内を運行する公共交通との接続を図り、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを整備していく②現在取り組んでいる市北部の公共交通の見直しの進捗状況にもよるが、来年度の後半からコミュニティバス導入など公共交通の見直しに向けた調査研究に取り組



佐賀市交通局

みたい③最終判断まではしていないが、来年4月から助成対象年齢を70歳以上とする方向で準備を進めたい。
◆その他◆高齢者福祉（在宅医療連携拠点事業と地域福祉）／障がい者福祉／有明海再生・諫早湾開門調査

投票率アップの対策を急げ！



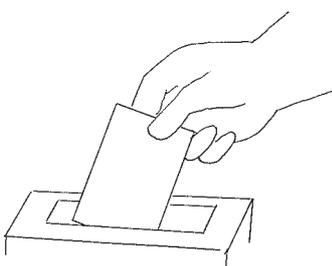
福井 章司

①市長選・市議会議員選挙をどう評価するのか②投票率の低下をどう考えるのか③その対策は④無効票の推移は⑤白票の意味をどう捉えるのか⑥若年層の投票状況は⑦ネット選挙が可能になったがどう考えるのか。
答弁 ①事務的には問題もなく終了したが、投票率

が合併後最低となり憂慮している②予想以上に投票率が伸びず、どう啓発をしていけば有効かを検討したい③有権者の投票行動を探るためにアンケート調査を実施しており、回答を分析したい④無効投票率が、前回2・39%、前回1・65%、今回、2・47%となっている⑤有権者の投票の選択肢の一つと考える⑥20歳台の投票率が30%台と低い状況⑦若者の投票率向上に向け、有効性や可能性が期

待できると考える。

◆その他◆合併による交付税特例について／広報戦略（特にゆるキャラ）について



※1 PFI：民間資金等を活用した社会資本整備のこと。Private Finance Initiative の略。

こどもの医療費 助成の拡充を！



中山 重俊

通院に対する助成を中学校卒業まで行う県内自治体は3市6町と広がった①就学前まで行う本市の助成を拡充する時期と考えるが②8月議会で「周辺市町の状況等を見ながら検討する時

期に来ている」と答弁した市長のその後の考えは。

答弁 ①拡充には新たな

財政負担が必要。償還払い^{※2}・現物給付^{※3}という助成方式ごとに試算すると、小学校卒業までの拡充でそれぞれ約1億8000万円・約2億9000万円が、中学校卒業までの拡充でそれぞれ約2億6000万円・約4億3000万円が必要②本市

12月9日(月)

小・中学校などへの エアコン設置を



山下 明子

先の市長・市議選を通じて小・中学校へのエアコン設置の強い要望が寄せられている。子どもの健康を守るのは優先課題。①全教室に温度計をつけ実態を把握し、暑さの厳しい所からも順次設置を②認可外保育所への財政支援の考えは。

答弁 ①各学校に温度計

を設置し、来年度から教室の温度調査を開始したい。エアコンの設置は、各学校の状況等の検証を踏まえ、早い機会に整備するため、手法や予算等について早急に検討していきたい②認可外保育所には、設備整備に関する補助として「安全対策事業費補助金」により1回10万円の支援を行っている。この補助が1回しか利用できない点については、県と市が2分の1ずつを負担して設けている制度であ

の助成が県内では遅れていることは認めるが、この段階で検討の結論を出すには至っていない。取り組むべき行政事業は他にも多くあり、どの事業を優先すべきかを決めるなかで、この件についても検討したい。

◆その他◆まちなか商店リニューアル助成事業について／学校給食費の無償化について

ることから、引き続き県と協議していきたい。

◆その他◆生活保護制度改善の影響／県立高タブレッツト自己負担／市民芸術祭／安心して住めるまちづくり



猛暑対策にエアコン設置を

学力向上にどう 取り組むのか



埴 正之

全国学力・学習状況調査で佐賀県の小学生は31位、中学生が42位であった。さらに佐賀市は県平均を下回っていたが①県の学力向上対策は②市独自の対策は③当面の達成目標は④来年から学校別成績の公表が認められるが、市の対応は。

答弁 ①週1回の小テスト

ト実施で補充指導を定着する。到達度の低い児童等に補充学習を実施する。平均正答率の低い学校に指導主事を派遣し、助言等を行う。教員の出張削減で学習指導時間を確保する②現在、7校に研究委嘱し授業改善を図っている。弱点を克服する授業のあり方の研究成果を各学校に広げる。学力達成不十分の学校は特別予算で補充指導教材を活用し対応③全国平均正答率を超えること④よりわかりやすく

これからの公民館のあり方は



野中 康弘

今後ますます重要となる旧佐賀市の公民館や旧町村の社会教育施設について①平準化を含めてどう考えているか②市長部局との連携も必要だが、どうか③組織・機構の見直しもあるのか④公民館主事の役割や身分の変化はあるのか。

答弁 ①旧佐賀市と旧町村との運営体制等の不均衡の解決策について、今年度中に方向性を示したい②市長部局と教育委員会が連携を強め、住民の生涯学習と連動した地域づくりを支援していく③来年度は地域コミュニティ推進・公民館支援・市民活動推進業務をまとめた部署を新設予定④権限配分は変更せず、市長部局の職員が補助執行する方法を採用したい。一部、地

との視点で早急に検討する。**◆その他**◆緊急経済対策関連の公共工事の進捗（年度内完了のめど）について



若楠公民館

※2 償還払い：医療機関窓口で医療費の自己負担額を支払い、後日市役所などに申請し助成分が償還される。
 ※3 現物給付：医療機関窓口で減免された自己負担額を支払う。助成分は医療機関に支払われる。

シンボルロードの位置づけは



宮崎 健

中心市街地活性化の観点から、佐賀駅から南に延びるシンボルロード（唐人町通り・中央大通り）について①どのように位置づけているか②歩きやすさを追求するための工夫は。

答弁 ①中心市街地の中

心軸として位置づけている。夏の栄の国まつりのメイン会場であり、冬にはサガ・ライトファンタジーが開催される。本市の玄関口である佐賀駅から4核エリアや城内に続く重要な動線である②TOJIN茶屋にバリ

アフリートイレを設置した。協力いただける店舗に「ばんこ」を貸し出して、自由に座れるようにしている。唐人町東線に緑地を整備し



た。サガ・ライトファンタジーの開催も「歩きたくな」という意味ではひとつの工夫であると考えている。
◆その他◆コンパクトシティについて

12月10日(火)

築地反射炉本体の場所の特定を!



松尾 和男

三重津海軍所跡は本年9月に世界遺産登録の推薦が決定した。三重津海軍所は、日新小学校の校舎の下あたりにあったと予測される築地反射炉があつてこそ創建されたものである。その本体の場所の特定のために本格的な調査をすべきでは。

答弁 築地反射炉跡については、これまでに行つた調査から本体の場所を特定するための手がかりを得ている状況であり、今後も調

査を継続する必要性を感じている。今後の調査については、日新小学校の改修時期等を総合的に考慮し、合理的に進めるべきと考えているので、調査可能な場所から随時調査を進めていく。



築地反射炉跡モニュメント

市長の公約の具現化について



重松 徹

佐賀市の「創」仕上げとして5本の矢を公約されているが、その重点事業の中から質問していききたい。①支所機能（再編問題）について②バルーンミュージアム建設について③中心市街地再生（マルキョウ跡地）について。

答弁 ①窓口や災害時の

対応などの観点から今の時点では、支所を統合や廃止ということは考えてはいない。しかし、合併後10年で地方交付税が減額されるのに伴いスリム化を求められるが、市民の皆さんと議論し意見等も取り入れて決定していききたい②平成28年度に誘致を進めている熱気球世界選手権開催前のオープンを目指し、年間7万人の利用を想定している③早期の利活用が図られ、再び中心市街地の活性化に寄与で

きる最善の活用策を皆さんと一緒に考えていきたい。
◆その他◆ジャンボタニシ問題について



東与賀支所



秀島市長

ラムサール条約登録は問題点が多い



川崎 直幸

東与賀干潟が登録により鳥獣保護区に指定されれば、鳥がふえ、ノリや麦など農漁業への影響や鳥と航空機の衝突事故の増加等が懸念される。県知事もこの懸念から平成17年に登録は難しいとの見解を示しているが、登録に向けての市の方針は。

答弁 8月に庁内に検討委員会を設置し、登録に向けた調査研究を開始している。ラムサールブランドを活用した地域振興が期待できる一方で、鳥による食害や鳥と航空機の衝突事故が懸念されたため、登録済みの自治体を調査したが、食害や衝突事故がふえた事例はなかった。登録には、佐賀県をはじめ漁協・農協等の関係団体の理解が必要であることから、今後も登録に



よる問題点や課題、メリツト等に対する調査研究をすすめ、それをしっかりと説明し理解を得ていきたい。
◆その他◆開門による有明海の再生について／ごみ処理施設の統廃合について